

(株)ダイキアクス (4245 東証プライム) 連結

発行元: Borderless IR株式会社 電話06-6965-6100

監修 KCR総研 福田総合研究所

基本情報	発表日	郵便番号	住所		電話番号			
	22/11/15	791-8022	松山市美沢1-9-1		089-927-2222			
事業内容	【設立年月】	2005/07	【業種】	化学	【決算期】	12月	【株価(円)】	711
	【代表者】	大亀 裕	【生年月日】	1960年5月26日	【開示責任者】	取締役副社長 堀淵 昭洋		
	【優待】	有		3,300円相当	【取引単位(株)】	100	【時価総額(百万円)】	9,721
	【配当利回(%)】	3.4	【上場年月】	2013年12月	【従業員数(人)】	891	【発行済株式数(千株)】	13672.1
	【優待利回(%)】	4.6	【年初来高値(円)】	1,777	【高値騰落率】	-60.0	【予想PER】	13.9
	【実質利回(%)】	8.0	【年初来安値(円)】	621	【安値騰落率】	14.5	【PBR(倍)】	1.05
	水関連インフラ環境創造開発型企業。環境機器関連と住宅機器関連が2大柱。上水事業、インド、東南アジア等海外事業、再生可能エネルギー関連拡注力。							

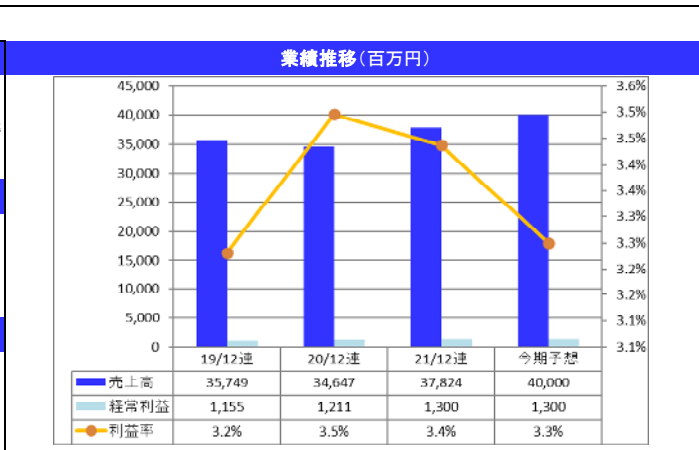
水関連インフラ環境創造開発型企業。環境機器関連と住宅機器関連が2大柱。上水事業、インド、東南アジア等海外事業、再生可能エネルギー関連拡注力。

	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)	(円)	配当性向
	売上高	営業利益	経常利益	利益	EPS	1株配当	
18/12連	36,224	923	1,100	861	71.8	24.0	33.4%
19/12連	35,749	1000	1,155	782	65.2	24.0	36.8%
20/12連	34,647	1045	1,211	477	39.6	24.0	60.6%
21/12連	37,824	1119	1,300	610	47.1	24.0	51.0%
今期予想	40,000	1150	1,300	700	51.3	24.0	46.8%

※今期予想は原則会社計画、未発表の場合市場コンセンサスによる					直近期末キャッシュフロー		
今期第1Q	11,023	454	532	352	営業CF	520 百万円	
今期第2Q	20,091	530	703	393	投資CF	-1,505 百万円	
今期第3Q	29,059	590	865	489	財務CF	-703 百万円	
今期進捗率(%)	72.6	51.3	66.5	69.9	現金等	6,250 百万円	

	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
	総資産	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	自己資本	有利子負債
21/12連	32,252	19,981	12,270	16,839	6,572	8,837	12,274
直近	29,573	16,845	12,727	13,820	6,363	9,288	11,727

収益性	
ROA	4.0% ※総資本経常利益率
ROE	6.9% ※株主資本当期利益率
売上高経常利益率	3.4%
効率性	
総資本回転率	1.2 回
流動資産回転率	1.9 回
固定資産回転率	3.1 回
安全性	
流動比率	118.7%
負債比率	264.9%
自己資本比率	27.4%
成長性	
増収率	9.2%
経常増益率	7.3%
自己資本成長率	15.8%
生産性	
従業員一人当たり売上高	43,576 千円
従業員一人当たり経常利益	1,498 千円
従業員一人当たり当期利益	703 千円



資本構成				
(%)	(%)	(%)	(%)	(人)
外国人	投信	浮動株	特定株	株主数
0.8	3.6	20.7	61.5	5130



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

ダイキアクシス(4245 東証プライム)連結

レポート要旨

2022年12月期第3四半期は増収も資材高騰、先行投資等の影響から減益。インド、スリランカに工場が完成し、海外事業に成長期待。再生可能エネルギー関連事業はM&Aにより大幅増収増益。

会社概要と沿革

○株式会社ダイキアクシス(4245 東証プライム)は、2005年7月12日にダイキ株式会社の全額出資子会社として設立され、同社がホームセンター事業を行う株式会社カーマおよびホームマック株式会社と経営統合するにあたり、ホームセンター事業を除く環境機器関連事業、住宅機器関連事業およびBDF(バイオディーゼルの事業)関連事業を分割継承し、事業を開始した。

事業内容と特徴

○グループは、株式会社ダイキアクシス、連結子会社17社(国内9社、国外8社)および非連結子会社1社(国内1社)ならびに関連会社2社(国外2社)により構成されており、環境機器関連事業、住宅機器関連事業、再生可能エネルギー関連事業を行っている。環境機器関連事業は、浄化槽をはじめとする各種水処理設備の製造・施工・販売および維持管理を主力とし、生活排水処理・産業排水処理・地域集落排水処理の各用途に分類された製品を取扱っている。また合成樹脂製・コンクリート製など、多岐用途に対応可能で各処理水質に応じた最適な排水処理設備を提供するとともに、集落のし尿・生活雑排水の処理については地域の環境に合わせた設計・施工を行い、アジア地域を中心とした海外にも事業を展開、各国に販売代理店網を構築して拡販するとともに需要の高い地域では現地生産に切り替えることで機動的かつ効率的に対応している。維持管理は、グループで販売・施工を行った施設のほか、他社製のものについてもメンテナンスを行っており、24時間監視体制やスポット対応など顧客のニーズに合わせたメンテナンス体制を整え、専属部門がこれにあっている。長期的に顧客と接点を持つことにより、維持管理を通じて得た情報を次期製品の開発および営業活動につなげるなど、事業全体を通じた各種水処理に係るトータルサービスを提供している。住宅機器関連事業は、住宅関連商材および教育関連施設商材の販売ならびに内外装工事を主力としている。再生可能エネルギー関連事業は、再生可能エネルギーの分野として、太陽光発電および小形風力発電に係る売電事業、小形風力発電機関連事業およびバイオディーゼルの燃料事業、水熱処理事業を行っており、クリーンなエネルギーによる環境負荷低減をコンセプトとして事業拡大を図るとともに、ポストFITを見越した高付加価値事業を提案している。その他の事業としてボトルウォーターの製造宅配や水道直結型の浄水器を取り扱う家庭用飲料水事業を展開。

市場環境と中期経営計画

○少子高齢化による国内経済の縮小、新築住宅着工数の減少、近年増加している大規模災害の発生のみならず、2020年度より拡大している新型コロナウイルス感染症に関連した想定・対応の難しい諸問題も発生しているが、成長を図っている。中期経営計画「PROTECT×CHANGE」の骨子として、2030年に当社グループが目指す姿として以下の4項目を掲げている。①グローバルな舞台で期待を超える活躍②世界から「環境の未来」を期待される企業への躍進③得意分野の拡大と新領域への挑戦④新型コロナウイルス感染症の影響によるニューノーマルに対応した柔軟な組織の確立。そのための指針として以下の2項目を推進している。①コーポレートスローガンの体現 つまり改めてグループ全社員がコーポレートスローガンである「PROTECT×CHANGE(環境を守る。未来を変える。)」を深く理解し、それぞれの業務に落とし込むことで、組織として一体感をもって体現させること。②基本方針 つまり企業姿勢である「守るべきものは守り。変えるべきものは変える。」を徹底し、変化に強い人材・組織づくりと強いグループとしての一体感を持って国内外、そして各セグメントで発生する需要の高まりに対応することである。成長戦略として、安定から成長への転化、海外展開、ストックビジネスの拡大、技術力・製品開発力の強化、再生可能エネルギー関連事業、M&Aの推進、IT推進を柱に据えている。

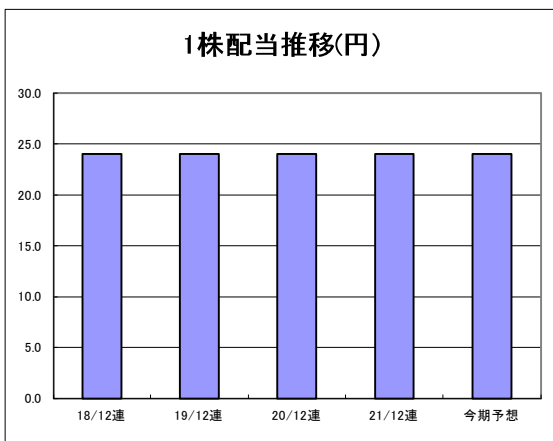
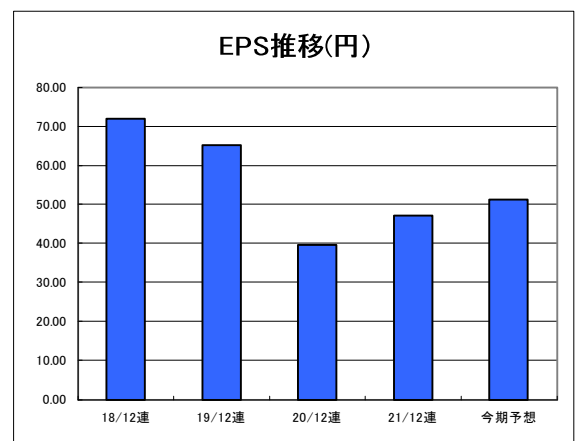
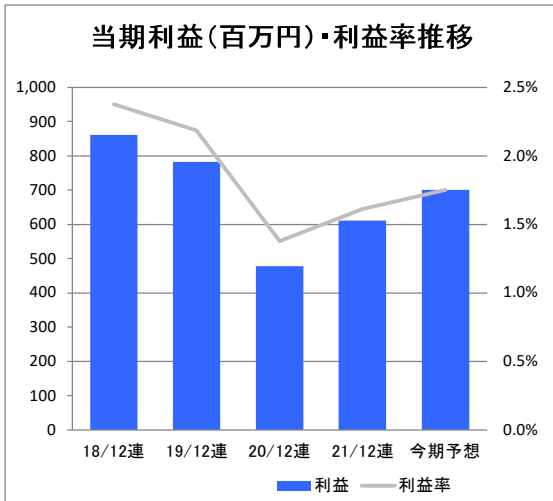
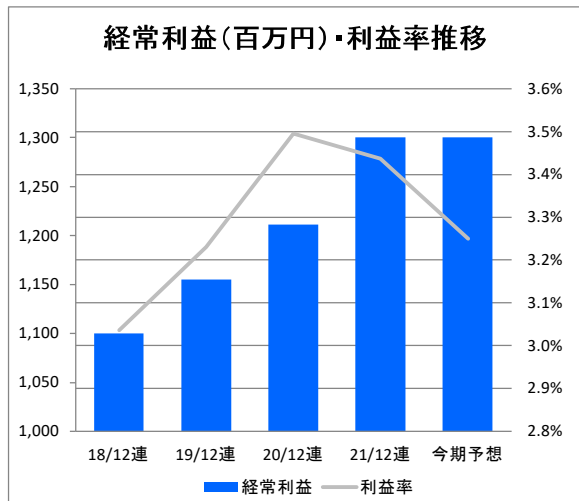
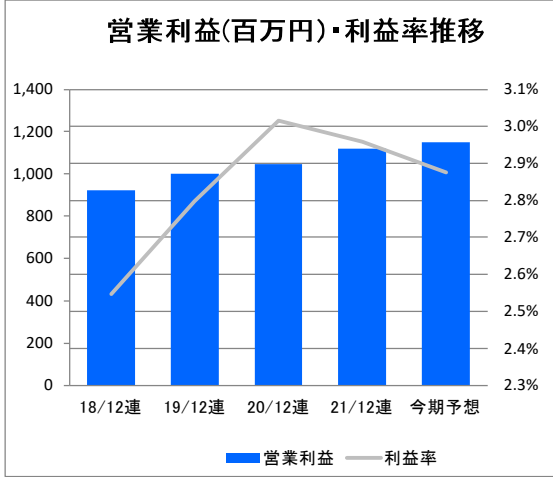
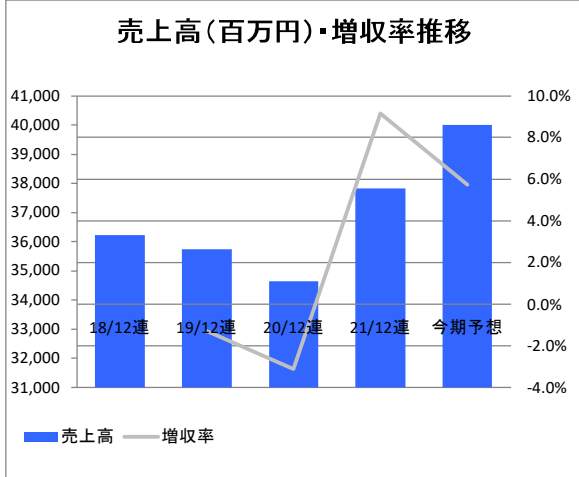
直近業績と会社計画

○2022年第3四半期連結累計期間の売上高は29,059百万円(前年同期比+5.4%)、営業利益は590百万円(前年同期比-35.9%)、経常利益は865百万円(前年同期比-16.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は489百万円(前年同期比-1.1%)となった。利益面では、新型コロナウイルス感染症の日本国内における規制緩和に伴う交通費の増加、輸送費の高騰および各種資材の高騰に伴う利益の圧迫、インドにおける新工場稼働に向けて教育のための工場要員の先行採用等の要因がある。しかし、販売価格の転嫁や10月にスリランカの組立工場、11月にインドの中大型浄化槽の製造工場が完成したことより、来期から本格的寄与が期待できる。2025年度を最終年度とする中期経営計画「PROTECT×CHANGE」では、環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の拡大、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスの開始、新商材の発掘等、安定事業から成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業セグメントにおいては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化、ポストFIT高付加価値事業・商材の発掘を行い、全社でIT戦略を実現するための組織強化、生産性向上ツールとしてITを活用していくとしている。2022年12月期通期連結業績見通しについては、売上高40,000百万円(前期比5.8%増)、営業利益1,150百万円(前期比2.7%増)、経常利益1,300百万円(前期比0.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円(前期比14.6%増)を計画している。

株主還元と配当政策

○同社は、企業価値を継続的に拡大し、株主に対する利益還元を行うことを重要な経営課題としている。今後の配当政策については、株主への安定的な利益還元と会社の継続的な成長を実現するため、各期の連結業績、配当性向及び内部留保を総合的に勘案した上で配当を行っていくことを基本方針としている。なお、剰余金の配当は、6月30日を基準日とする中間配当及び期末配当の年2回としており、中間配当及び期末配当を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款で定めている。

(株)ダイキアクシス						(4245 東証プライム) 連結				
基本分析	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	利益	利益率	EPS	1株配当
18/12連	36,224		923	2.5%	1,100	3.0%	861	2.4%	71.84	24.0
19/12連	35,749	-1.3%	1,000	2.8%	1,155	3.2%	782	2.2%	65.20	24.0
20/12連	34,647	-3.1%	1,045	3.0%	1,211	3.5%	477	1.4%	39.60	24.0
21/12連	37,824	9.2%	1,119	3.0%	1,300	3.4%	610	1.6%	47.10	24.0
今期予想	40,000	5.8%	1,150	2.9%	1300	3.3%	700	1.8%	51.29	24.0



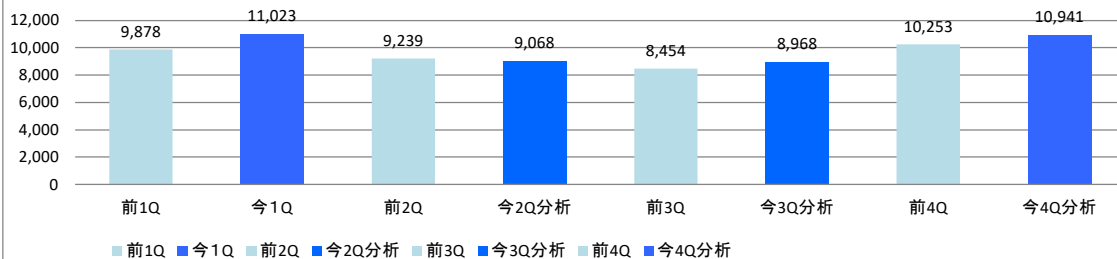
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグシス (4245 東証プライム) 連結

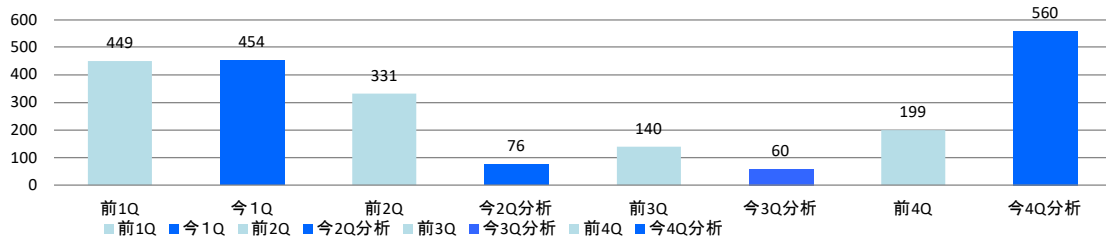
四半期分析	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	当期純利益	利益率
前1Q	9,878	11.6%	449	4.5%	495	5.0%	277	2.8%
今1Q	11,023		454	4.1%	532	4.8%	352	3.2%
前2Q	9,239	-1.9%	331	3.6%	369	4.0%	163	1.8%
今2Q分析	9,068		76	0.8%	171	1.9%	41	0.5%
前3Q	8,454	6.1%	140	1.7%	172	2.0%	55	0.7%
今3Q分析	8,968		60	0.7%	162	1.8%	96	1.1%
前4Q	10,253	6.7%	199	1.9%	264	2.6%	115	1.1%
今4Q分析	10,941		560	5.1%	435	4.0%	211	1.9%

※分析は、予想に基づき算出

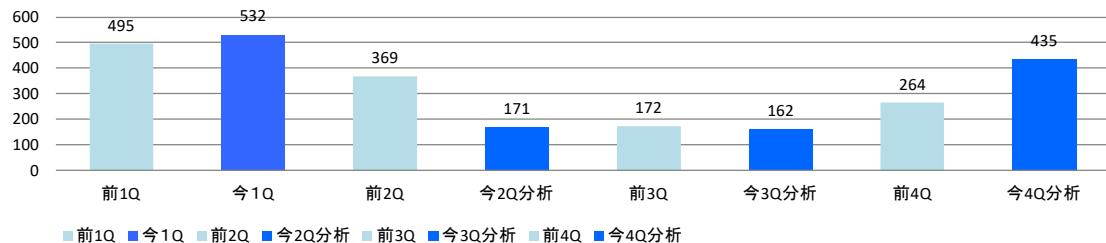
四半期分析(売上高・百万円)



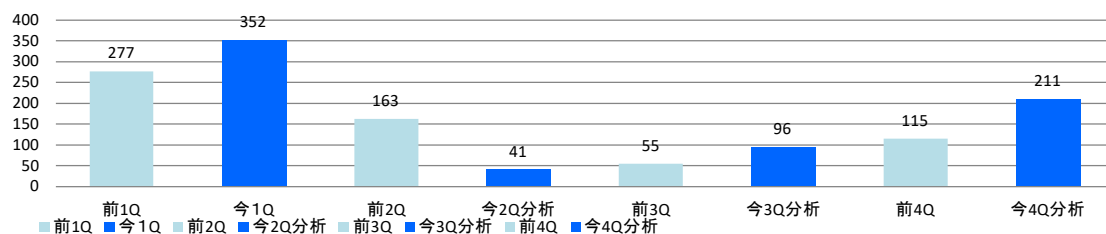
四半期分析(営業利益・百万円)



四半期分析(経常利益・百万円)



四半期分析(当期利益・百万円)

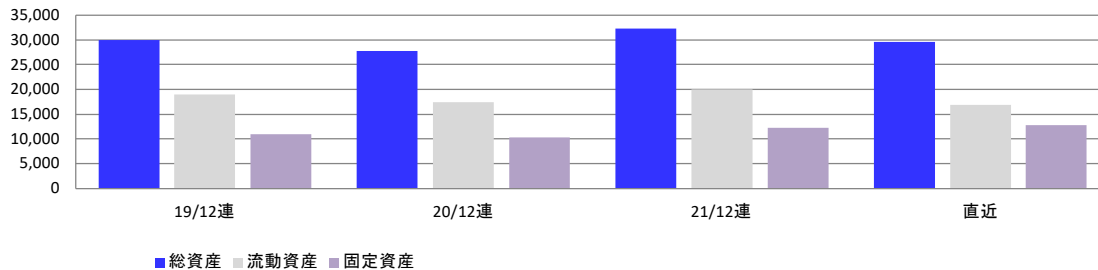


このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品については当社や関連会社、及びその従業員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグリス (4245 東証プライム) 連結

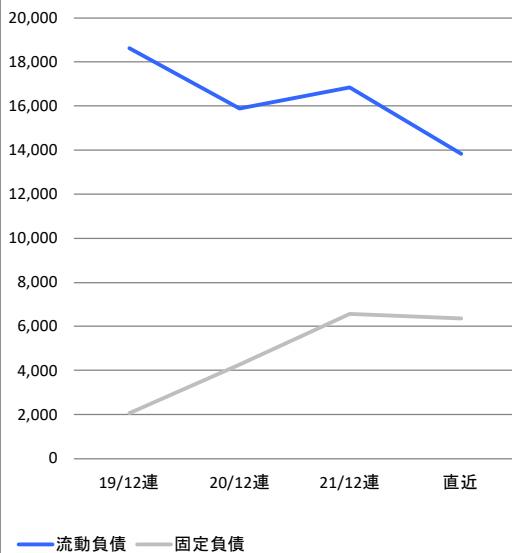
資産分析	総資産	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	自己資本	有利子負債	依存度	従業員数
19/12連	29,907	18,906	11,001	18,624	2,079	7,154	11,528	38.55%	0
20/12連	27,778	17,448	10,330	15,878	4,265	7,630	12,554	45.19%	794
21/12連	32,252	19,981	12,270	16,839	6,572	8,837	12,274	38.06%	868
直近	29,573	16,845	12,727	13,820	6,363	9,288	11,727	39.65%	891

資産推移(百万円)

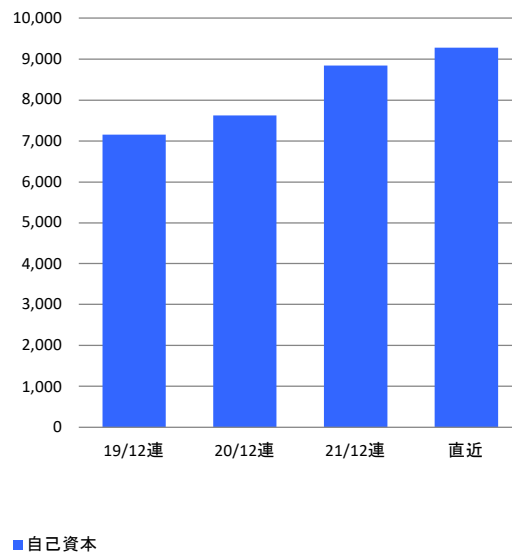


単位: 百万円

負債推移

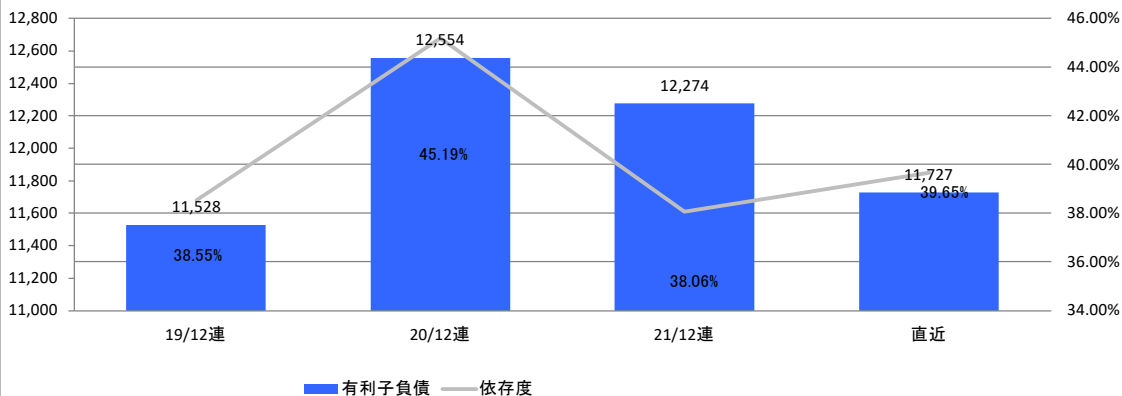


株主持分推移



単位: 百万円

有利子負債推移

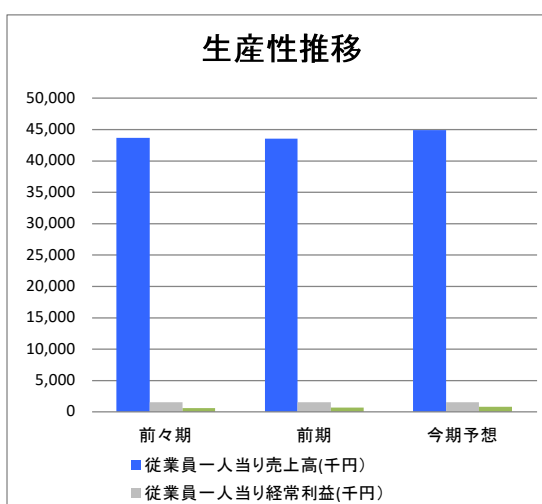
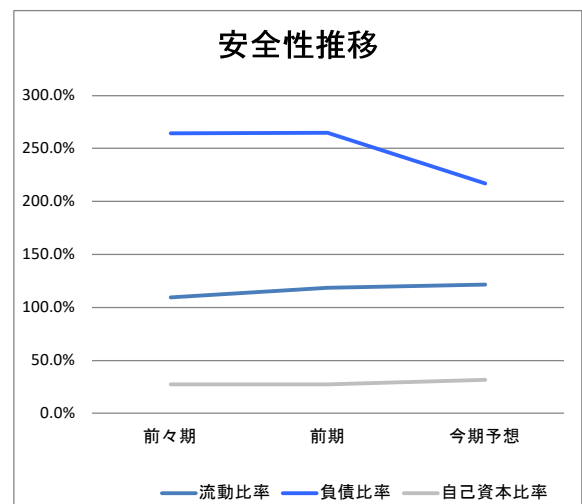
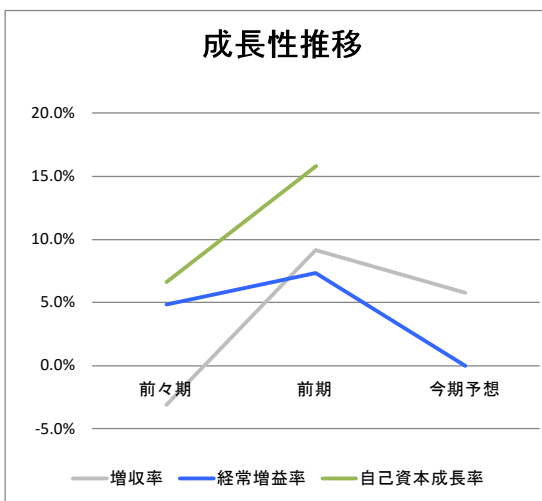
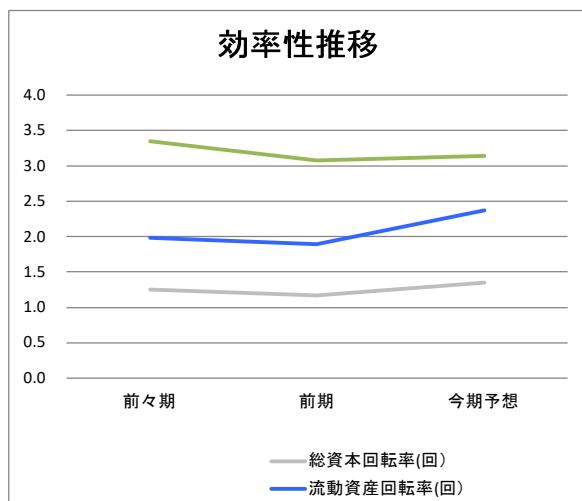
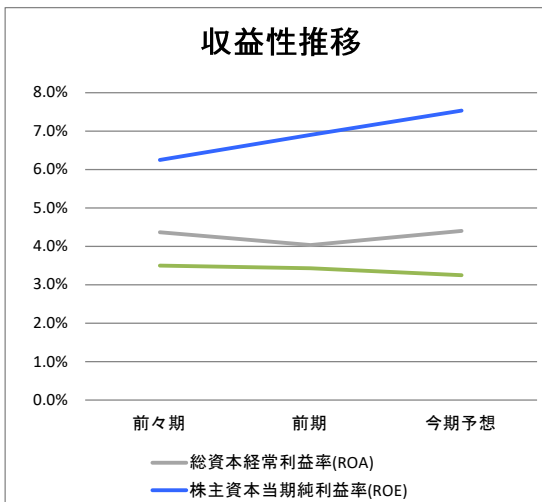


このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグシス (4245 東証プライム) 連結

財務指標分析			
収益性			
総資本経常利益率(ROA)	前々期	前期	今期予想
株主資本当期純利益率(ROE)	6.3%	6.9%	7.5%
売上高経常利益率	3.5%	3.4%	3.3%
効率性			
総資本回転率(回)	前々期	前期	今期予想
流動資産回転率(回)	1.2	1.2	1.4
固定資産回転率(回)	2.0	1.9	2.4
安全性	前々期	前期	直近
流動比率	109.9%	118.7%	121.9%
負債比率	264.0%	264.9%	217.3%
自己資本比率	27.5%	27.4%	31.4%
成長性			
増収率	前々期	前期	今期予想
経常増益率	-3.1%	9.2%	5.8%
自己資本成長率	4.8%	7.3%	0.0%
6.7%	15.8%		
生産性			
従業員一人当たり売上高(千円)	前々期	前期	今期予想
従業員一人当たり経常利益(千円)	43,636	43,576	44,893
従業員一人当たり当期利益(千円)	1,525	1,498	1,459
従業員一人当たり当期利益(千円)	601	703	786

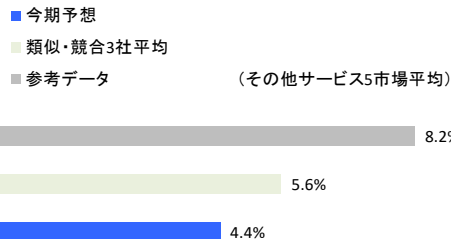
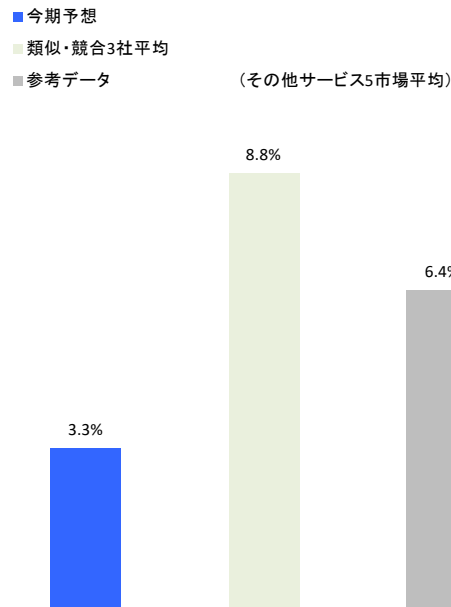
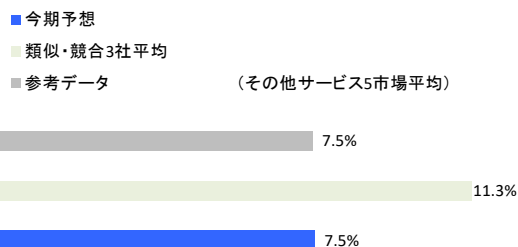
※アセットは原則直近値を用い一定として算定



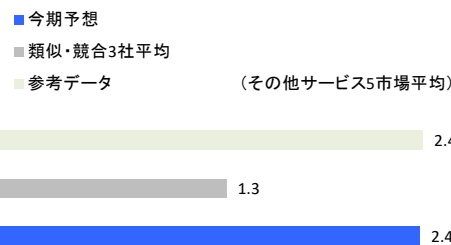
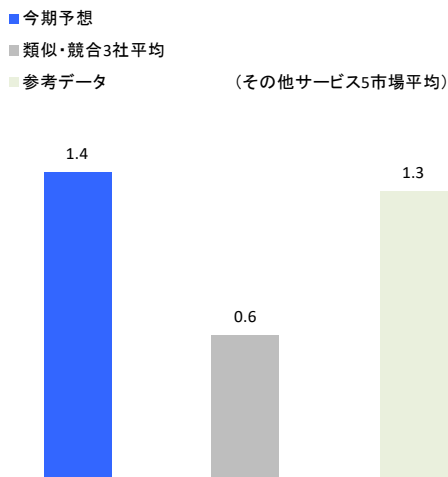
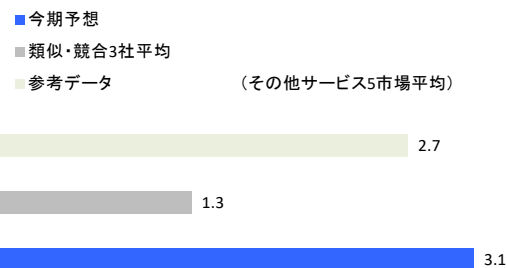
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグシス (4245 東証プライム) 連結

収益性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5市場平均)	類似・競合3社
総資本経常利益率(ROA)	4.4%	5.6%	8.2%	(株)クボタ (6326 東証プライム)
株主資本当期純利益率(ROE)	7.5%	11.3%	7.5%	月島機械(株) (6332 東証プライム)
売上高経常利益率	3.3%	8.8%	6.4%	(株)エプコ (2311 東証プライム)

総資本経常利益率(ROA)**売上高経常利益率****株主資本当期純利益率(ROE)****効率性分析**

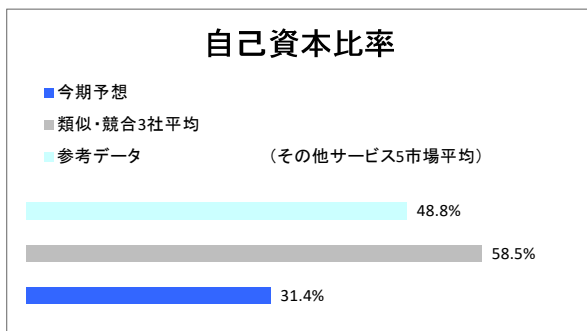
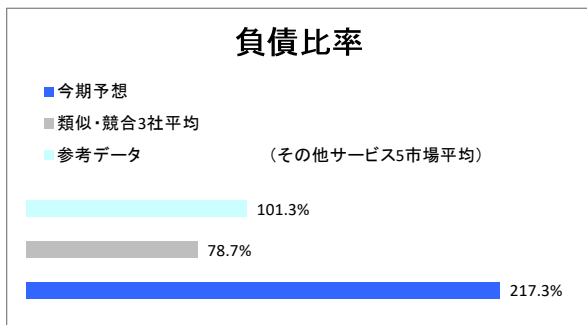
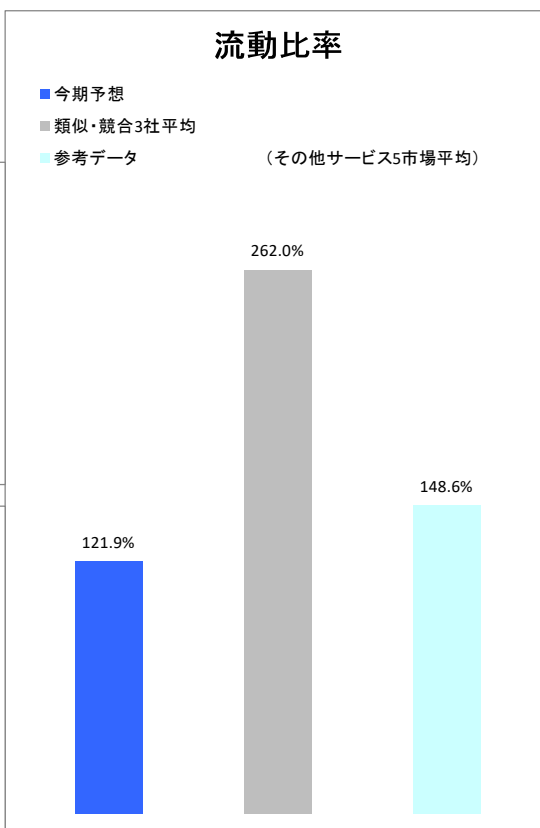
効率性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
総資本回転率(回)	1.4	0.6	1.3
流動資産回転率(回)	2.4	1.3	2.4
固定資産回転率(回)	3.1	1.3	2.7

流動資産回転率(回)**総資本回転率(回)****固定資産回転率(回)**

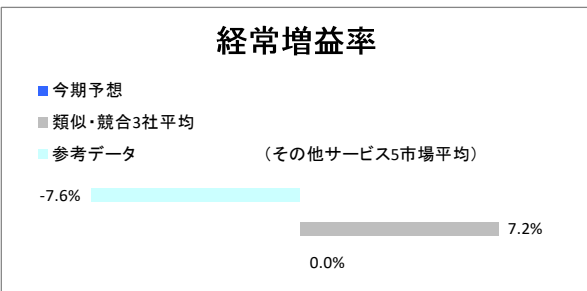
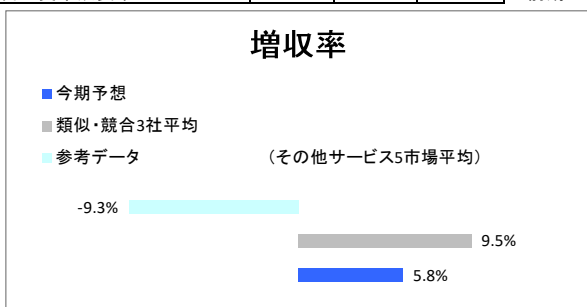
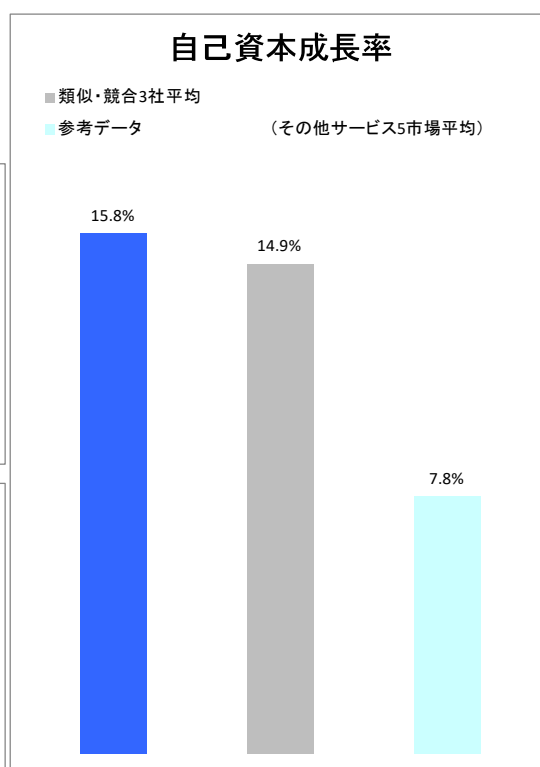
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグシス (4245 東証プライム) 連結

安全性分析	直近	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
流動比率	121.9%	262.0%	148.6%
負債比率	217.3%	78.7%	101.3%
自己資本比率	31.4%	58.5%	48.8%



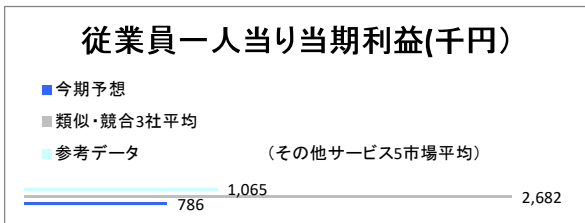
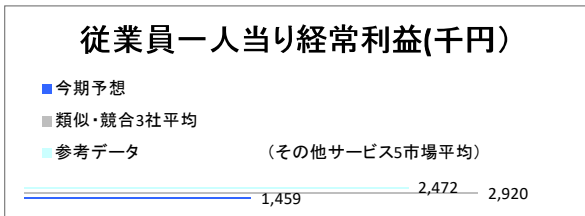
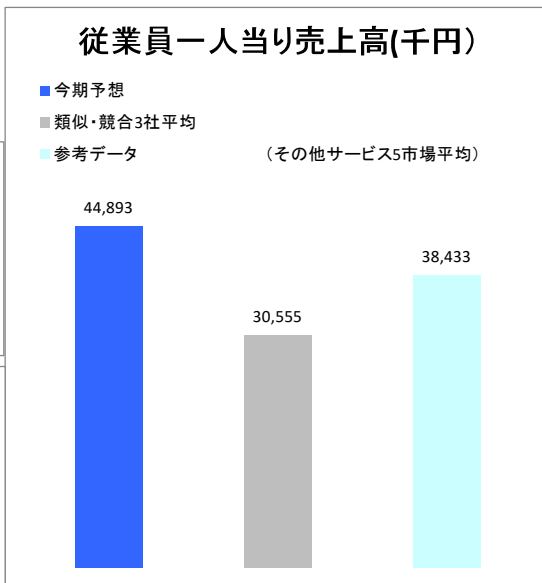
成長性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
増収率	5.8%	9.5%	-9.3%
経常増益率	0.0%	7.2%	-7.6%
自己資本成長率	15.8%	14.9%	7.8%



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

(株)ダイキアグシス (4245 東証プライム) 連結

生産性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
従業員一人当たり売上高(千円)	44,893	30,555	38,433
従業員一人当たり経常利益(千円)	1,459	2,920	2,472
従業員一人当たり当期利益(千円)	786	2,682	1,065

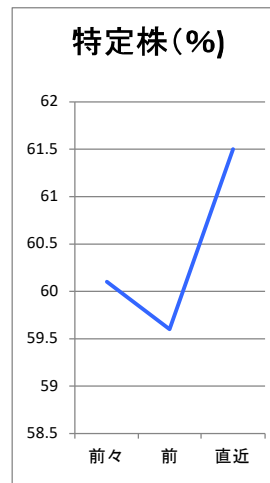
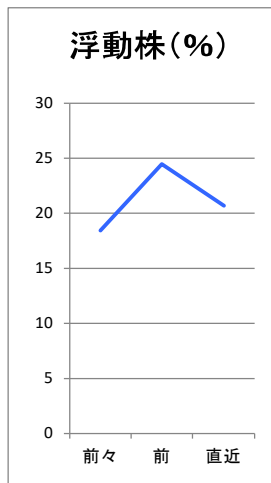
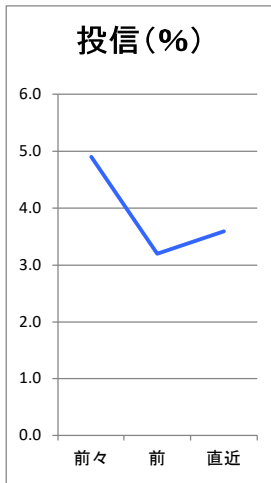
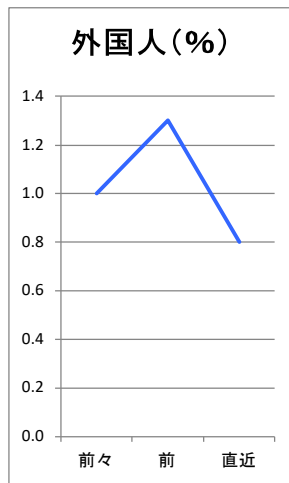
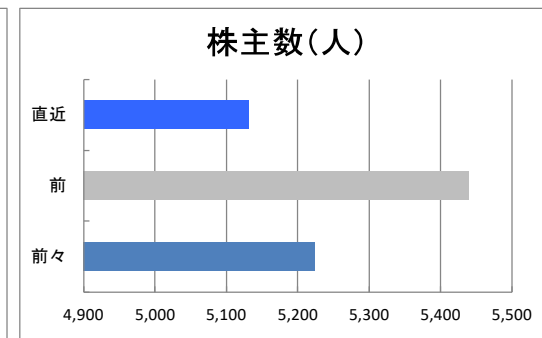
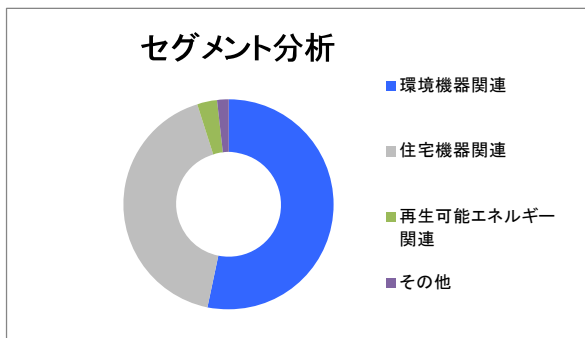


セグメント分析 21/12連

環境機器関連	53.2%
住宅機器関連	42.0%
再生可能エネルギー関連	3.0%
その他	1.8%
合計	100.0%

資本構成分析

	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)
	外国人	投信	浮動株	特定株	株主数
前々	1.0	4.9	18.4	60.1	5,224
前	1.3	3.2	24.5	59.6	5,440
直近	0.8	3.6	20.7	61.5	5,130



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、BIRがその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

重要事項

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、Borderless IR株式会社（以下BIRという）がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

アナリスト証明

表紙に名前を記載されているアナリストレポート作成企業は、レポートに記述されている全ての見方が各自のここで議論した全ての証券や発行企業に対する各自の見方を正確に反映していることを保証いたします。さらに、作成企業に属するアナリストは、各自の報酬が、直接的あるいは間接的にこのレポートで議論した推奨や見方によって、現在、過去、未来にわたって一切影響を受けないこと、ならびに、Borderless IRが行ったいかなるコンサルティング案件とも関係ないことを保証いたします。

利益相反に関する開示事項

BIRは、契約に基づき有償にて個別企業のIRコンサルティング及びIR支援サービスを実施しております。BIRが過去・現在においてサービスを提供している会社につきましては、<http://www.b-ir.co.jp/japanese/main.php>に掲載されている企業をご参照ください。本件につき情報が必要な方はBIR(TEL:06-6965-6100)までお問い合わせください。

本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。株式会社KCR総研、株式会社福田総合研究所及び本レポート作成担当者は本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しております。株式会社KCR総研の関連投資顧問会社である北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社（近畿財務局長（金商）第66号）（社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号022-00252）は本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しております。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第1号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しております。北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第2号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しております。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第3号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。

本レポートに関する照会先

Borderless IR株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル6F
TEL 03-4588-6706担当: 福田 徹